

## 令和4年度 第1回弥彦村学校運営協議会 議事録

### 1 日 時

令和4年4月27日（水）16:00～17:25

### 2 場 所

弥彦総合文化会館 2階 小ホール

### 3 出席者

【委員】（順不同、敬称略）

宇田委員 藤澤委員 小柳委員 渡邊(晃)委員 柏原委員 渡邊(真)委員 二村委員  
山縣委員 高橋委員 古川委員 木嶋委員 河井委員 鈴木委員

【教育長】

林教育長

【事務局】

橋本事務局員 阿部事務局員 富田事務局員 星事務局員

### 4 内 容

#### (1) 開会

令和元年度に学校運営協議会が始まり3年が経過した。これまでの3年間は、どのような形が弥彦村学校運営協議会にとってよいのか、じっくり考える時期だったと認識している。次第に方向も定まってきており、これからの3年間は軌道に乗せる時期と感じている。ただ、肩肘張らずに、楽しく、学校運営協議会が運営されることを期待している。何よりも、地域の子供たちが明るく元気に、そして伸び伸びと活躍できることを大切にしていきたい。

学校と地域の関わりで、1点報告がある。報道等で皆様もご存知とは思いますが、中学校の部活動の地域移行が喫緊の大きなテーマである。弥彦村でも、新潟医療福祉大の教授に御指導いただきながら、6月に検討会を立ち上げる予定である。この会においても、検討会の途中経過を報告したり、御意見をいただいたりする場面もあると思うが、よろしく願いしたい。

#### (2) 委嘱状交付

学校運営協議会の新任の3名の委員、地域教育コーディネーター2名に委嘱状が交付された。この後、各委員・事務局より自己紹介を行った。

#### (3) 議題

##### ①会長及び副会長の選出

立候補者の有無について確認し、出席委員の誰からも立候補がなかったため、事務局より会長、副会長の推薦を行い、異論なく満場一致で承認された。

##### ②部会の昨年度の取組報告

###### ア 学校評価部会について

昨年度学校評価部長より昨年度の学校評価部会の取組について報告を行った。報告に対する質疑・応答等は下記の通り。

##### 【質疑・応答等】

質疑：自身も昨年度、学校評価部会に参加させていただいた。その部会の中で、小学校、中学校の取組について、とてもいい感じで議論がまとまったと思う。そういう認識

で間違いないか。

回答：コロナ禍であっても、小中学校の先生方の取組、地域の方々の取組がうまくいっていて、結果的に子どもたちがよくなっているという意見が多く出された。出席された部員の皆様は、小中学校の取組がうまくいっているという理解だったと思う。

#### イ 学校支援部会について

昨年度学校支援部長より昨年度の学校支援部会の取組について報告を行った。報告に対する質疑・応答等は下記の通り。

##### 【質疑・応答等】

意見：通学のバスには、スライドが出るバスと出ないバスがある。1、2、3年生の背が低い子は、スライドの足踏み場がないと危険である。乗るときはそれほど問題ないが、降りるときは、ポーンとバスから降りて、つまずいたり縁石にぶつかったりする児童がいる。もう一段スライドのあるバスにしてほしい。

回答：対応を検討したい。

意見：弥彦村のスクールサポーター自体の人数がそろわないということもあるが、スクールサポーターの活動がより良くなってほしい。

隣の市の小学校にはスクールサポーター用の教室がある。そして活動後は、流れ解散ではなく、きちんと振り返りをして、翌日の段取りをするという、システムができています。

意見：自身もスクールサポーターの一員として、できるときにできることをモットーに合わせて活動している。そして年々、登録人数が増えてきている。確かに昨年は、コロナ禍で十分に活動できたとは言えなかった。しかし、地域教育コーディネーターが携帯をもたせてもらってから、スクールサポーターの連絡がとてもスムーズになった。一斉メールが配信されると、できる人が「できる」とすぐに返事ができている。先日、iPadの更新作業には、たくさんのスクールサポーターが参加した。1年ごとにスクールサポーターの活動が良くなってきたと、一員として感じている。居場所作りの件は、話が進んでいると聞いており、期待している。

回答：スクールサポーターの皆様には感謝している。図書館ボランティアには4名が、下校見守りには9名の方が参加してくださっている。そして先日のiPadの更新作業には13名が参加してくださった。当初2週間程かかる見込みだったが、「1日も早く1年生にiPadを渡せるように」という思いで、2日間で終わった。お孫さんがいない方からも参加していただき、「こういうので学習しているんだね」「私も使ってみよう」等の意見をいただいた。楽しみながら活動できたこと、また学校の取組を分かっていたいただいたことが良かった。

居場所作りは、今年度中に話を進めたい。居場所は、振り返る場でもあり、くつろいでもらう場でもあり、情報交換の場でもある。来ていただきやすい場所作りを目指している。今後、また経過を報告したい。

感想：自身もスクールサポーターの一員として、今年度2回参加させてもらった。1回は、低学年の下校時のお手伝いをさせてもらった。保育園から上がってきたばかりで、初々しくとてもさわやかな感じに見受けられた。2回目は、iPadの更新作業に参加させてもらった。校舎内に入ったら、「こんにちは」と高学年が積極的に話しかけてくれた。今まで、道路上で児童とすれ違ってもそんなことはなかったが、学校自体の挨拶をしましようという指導があるようで、児童が明るく見える。その様子から雰囲気がいい学校になったのだと感じた。

iPadの更新作業時に、居場所作りの候補の教室に案内していただいた。実際に見

てみて、打ち合わせや振り返りに適している場所であると感じた。

### ③学校経営方針等について

#### ア 小学校の学校経営方針等について

小学校校長より弥彦小学校の取り組みや現状についてプレゼンテーションによる説明を行った。説明に対する質疑・応答等については下記のとおり。

##### 【質疑・応答等】

質疑：メディアコントロールの取組について、細かく発信していただいております、その大切さは子供には伝わっていると思う。一方で、保護者に十分伝わっていないようにも思う。コロナ禍であるので、保護者が全体で集まって伝える機会をつくるのも難しいと思うが、保護者にも浸透してもらえよう取り組んでいただけるとありがたい。

回答：夏休み前に、県警の方を講師に迎えての保護者向けの会を企画しているところである。内容については、インターネット等の使い方や危険性を予定している。

感想：弥彦村の15歳で目指す子供の姿に、「弥彦を愛し、夢や志をもってつながりをひろげる強くたくましい子供」とある。小学校は前哨戦に当たると思うが、校長先生の説明にあった「夢を与える」という部分がとても良いと感じた。

説明の中にあった「主体性をもつこと」もとても重要だと思った。主体性がないと、ソサイエティ5.0の時代では落ちこぼれてしまう。自身は大学でソサイエティ5.0に関する授業を担当しているが、小学校の段階から「生きる力」を育ててもらえるととても心強い。

#### イ 中学校の学校経営方針等について

中学校長より弥彦中学校の取り組みや現状についてプレゼンテーションによる説明を行った。説明に対する質疑・応答等については下記のとおり。

##### 【質疑・応答等】

意見：中学校を訪れると、生徒がとても明るく挨拶してくれる。社会性の育成に努力されていることに感謝している。

スクールサポーターの取組で、授業支援がある。多数の生徒を相手にしている先生方には、目が届かないところがあると思う。生徒を見守ったり、声かけをしたりする等の個別の学習支援にスクールサポーターを活用してもらえるとありがたい。

家庭学習の時間に課題があるという説明があったが、メディアコントロールも関係していると思う。様々な対策を示されていたが、これから功を奏すると思う。以前、授業を参観させていただいた。ファシリテーション（話し合い活動）を行っていたが、班長が主になってグループをよくまとめており、話し合いがスムーズに進んでいた。日頃の指導が功を奏していると感じ、とても感心した。

意見：話し上手は、聞き上手という言葉がある。今の子供たちの状況を見ていると、なかなか人の話を聞かないで、自分の主張だけ言う場面が多々見られる。ぜひ、人の話を聞くことも授業で教えてほしい。

回答：ファシリテーションという手法がまさに、その聞く力を育成するものだ。ファシリテーションには、人の話をさえぎらない、人の話を否定しない等のルールがある。まさに人の話を聞くトレーニングになる。ぜひ学校で取り組んでいきたい。

意見：自身の大学で3年前からファシリテーションの授業を新設した。概論で、ファシリテーションとはどういうものか教えて、演習で実践した。そうしたら、ある程

度学生にコミュニケーション能力がついた。大学で指導していることと同じことを中学生に指導していると知り驚いた。

意見：自身は弥彦氏子青年会に所属させていただいている。氏子青年会は、お祭りの時季には、弥彦小中学校に出向いたり、ふるさとキャラバンの太鼓や笛の指導に参加させていただいたりしている。氏子青年会の役員は、今まで自営業の方が多かったが、会社勤めの会員が増えてきて、会社を休んで指導に行っていることをお知りおきいただきたい。そして、平日の時間での学校側とうまく調整して、よりよい活動になるようにしていただければと思う。

以上のとおり、小・中両校の学校経営方針の説明と質疑・応答等を終え、会長より出席した委員に両校の経営方針について諮ったところ、満場の拍手をもって承認された。

#### (4) 連絡

事務局より、現時点での今年度の学校運営協議会の年間予定を伝えた。

#### (5) 閉会

お忙しい中、お集まりいただいたことに感謝申し上げます。深い議論が出来たと思っている。本日の要項の表紙に「弥彦を愛し、夢や志をもってつながりをひろげる強くたくましい子供」とある。弥彦を愛する子供に育ててほしいとか、弥彦で長く生活する子供を育てたいという思いを達成するための言葉と感じた。教育長の話にもあったが、学校運営協議会も、4年目を迎えた。最初は、ゆっくりとしたペースで基礎固めをしていたが、昨年あたりから、急にサポーターも増えて、活動が活性化して熱くなってきたと感じる。弥彦村の素晴らしい子供たちが育って、その子供たちに支えられた素晴らしい村になるように、自身も協力していきたい。

以上

(文責 事務局)